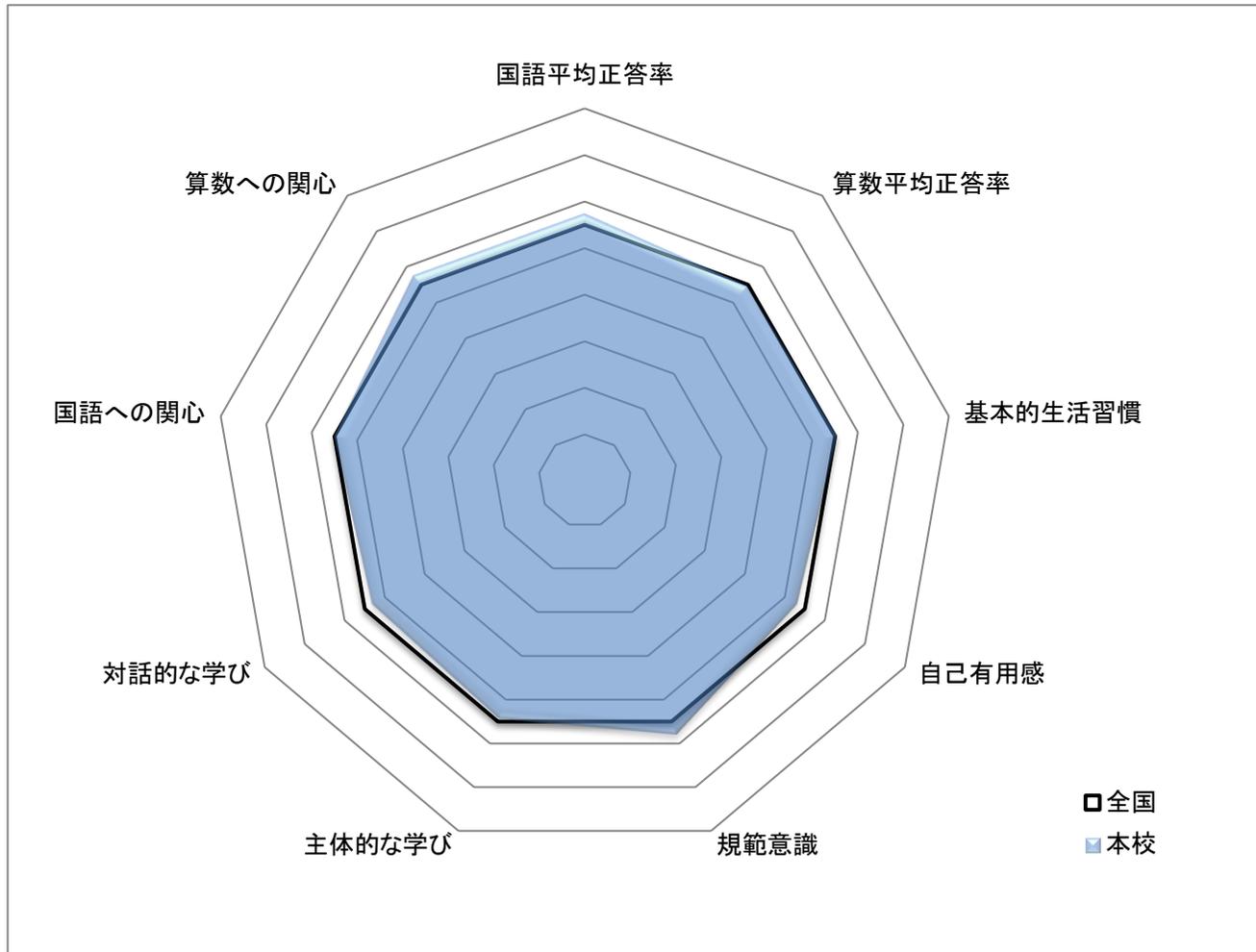


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

・ここ数年よりは国語、算数ともに正答率が向上した。また、これまで無回答が多く見られたが、そちらも減少していった。  
 ・国語、算数とも正答数が少ない層が一定数見られている。  
 ・本校の児童が自ら進んで学ぶ姿勢が今一步であったが、その改善の兆しが見られるようになってきた。

《授業改善のポイント》

・国語では書くことについてやや課題が見られることから、その改善に向けた取組を授業等で重点的に取り組んでいきたい。  
 ・算数では、授業を通して知識・技能をしっかりと身に付けさせること、図形やデータの活用について重点的に取り組み、一人一人の児童への支援を強化していきたい。  
 ・タブレット端末のより効果的な活用や放課後補習の進め方の見直しなどについても検討していきたい。

《チャートの特徴》

・学力調査自体の結果としては、国語は全国の平均正答率を上回り、算数は全国とほぼ同じレベルの結果であった。  
 ・国語、算数ともに学習への関心は全国平均よりも高い。対話的な学びについては全国平均よりもやや低い。  
 ・規範意識については全国より高い結果となっている。

《家庭・地域への働きかけ》

学校のホームページに結果を掲載するとともに、学校だより等で今後の取組も含めて発信していく。  
 また、学校評議員会等でも周知し、学校としての取組を展開していく。